

川上ダム通信

2018
7
月号



Vol. 154
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



川上ダムに関する懇談会 開催

5月31日(木)、当建設所において、川上ダムに関する公共機関による懇談会を開催しました。この懇談会は、4月に転流を行い、ダム建設事業が今後本格的な工事に入ることから、関係する国、三重県、伊賀市の皆様と水資源機構が一堂に会し、事業の進捗状況や今後の事業予定などの情報を共有することで、更なる連携強化を図るために実施したものです。

意見交換の中で、岡本伊賀市長から「下流に住む子どもたちがダムに来て、様々な学習ができるような取り組みも今後考えていただきたい。」とのご提案をいただきました。



岡本伊賀市長のご挨拶

ダムに関する事業説明及び意見交換に続き、参加者の皆様には、施工中の上流仮締切工を視察していただき、ダム建設事業が順調に進捗していることを確認していただきました。今後も、関係者間での情報共有を行い連携を図ることにより、平成34年度の事業完成を目指して、関係する皆様と共に職員一同精一杯取り組んでまいります。

【総務課 大西誉朗】



事業の概要説明



現場視察の状況

桐ヶ丘地区の皆様 平成30年度事業説明を行いました

6月17日（日）、桐ヶ丘自治会組長会のお借りし、平成30年度川上ダム建設事業説明を行いました。今年も100名を超える多くの住民の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、昨年9月に川上ダム本体建設工事の受注者が決定し、今後同工事が本格化していくことから、受注者である大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体（JV）からも3名が参加しました。

当日は、主に地下水調査とダム本体建設工事についての説明を行いました。



事業説明の様子～桐ヶ丘アミティ～

地下水については、現在の地下水位は、ダム完成後の最高水位より常に高いことから、貯水池の水が桐ヶ丘団地側に流れ込むことはないと考えられると説明しました。（詳しくは2018年5月号参照）

ダム本体建設工事については、今年9月から開始予定の基礎掘削時に、発破作業を行う際には安全のため一時的に通行止めを行うことや、今後、コンクリート骨材を運搬する車両が増えることから、車両に対する運行管理システムを導入することなどを説明しました。

ダム本体建設工事が次第に本格化していくなか、当建設所では、万全な対策のもと、安全かつ確実な事業の進捗に努めてまいります。引き続き、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

【調査設計課 馬場貴裕】

環境に配慮した事業推進のために！

5月24日（木）、「平成30年度川上ダム建設所環境学習会」を開催しました。本学習会は、事業に関わる環境保全について、川上ダム建設所の職員や工事及び業務の受注者などの事業に携わる方々に知識を深めてもらい、適切な保全対策に取り組んでいくことを目的として毎年行っています。今年度は、大規模なダム本体建設工事が始まることから、環境へ配慮した施工を行うべく、職員と受注者が共にしっかり座学を受け、環境保全に対する理解を深めました。



座学の様子



保護施設にて
オオサンショウウオの観察を行う

現地学習では、オオサンショウウオの保護施設の見学を行いました。この日、保護施設にはオオサンショウウオが一時的に保護されており、オオサンショウウオの姿や、咬みつく力がとても強く危険だという説明に驚きの声が上がりました。また、事業地内で保護している貴重な植物へも、その詳細や保護方法に関する質問などがあがり、積極的に意見交換が行われる充実した環境学習会となりました。

川上ダムでは環境学習会のほか、月に1回、環境に配慮した工事の取り組みに関する報告や情報共有を行う「環境保全協議会」などの取り組みを行っています。これからも事業関係者一丸となって環境保全に取り組んでまいります。

【環境課 柳瀬有里】

新緑の高原を疾走 ~青山高原つつじクォーターマラソン~

5月27日(日)、伊賀市勝地の青山高原にて、「第31回青山高原つつじクォーターマラソン大会」が開催されました。好天に恵まれ爽やかな初夏の風が吹き抜ける中、1,000名を超える健脚たちが県内外から集い、各々3キロ、5キロ、そして10.55キロ(クォーター)のコースに挑みました。

標高約800mの高地から望む展望は絶景である反面、最大高低差110mに上る起伏の激しいコースはランナーにとって過酷。特にラスト500mからの心臓破りの坂は、すでに足が棒となっているランナーたちの気持ちの糸までも切らんとするほど険しいものでした。

我らが「チーム川上ダム」も編集長をはじめ9名で参戦、日頃のトレーニングの成果を発揮し(?)、沿道からの温かい声援にも後押しされ、全員が無事に完走を果たしました! なかにはクォーター部門において50分を切る好タイムを叩き出した職員もあり、その場で新マラソン部長に就任が決まりました!



ゴール前の勇姿(右が編集長)



チーム川上ダム全員完走!

大会関係者の皆様をはじめ、地域の皆様には、ランナーにとって良い環境を作っていただき感謝いたします。青山高原は、春はアセビ・ツツジの群生が咲乱れ、続いてナデシコが赤い小さな花を見せ、秋はススキの白い穂をなびかせ冬の樹氷も美しく、四季折々楽しめるスポットです。読者の皆様におかれましても、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

【第一用地課 伊美彰太】



熱中症ゼロを目指して

5月14日(月)、木津川ダム総合管理所において職員と受注者を対象とした熱中症防止対策説明会が開催され、川上ダム建設所からも職員13名が参加しました。説明会では外部講師をお招きして、クイズを交えた分かりやすいご説明をいただきました。

また、熱中症対策に必須である水分と塩分の同時補給には、スポーツドリンクが効果的であることも紹介されました。川上ダム建設所では今回の説明会で学んだことを活かし、熱中症ゼロを目指して予防対策に取り組んでまいります。【工務課 野田有佑】

7月は熱中症によって救急搬送される人数がもっとも多い時期!!



説明会の様子(木津川ダム総合管理所)

★熱中症を防ぐために・・・

1. 体を動かす

2. バランスよく食べる

3. よく寝る



← 熱中症による救急搬送状況(H29年)

~ 右岸天端展望所を施工中 ~

- ✦ 川上ダム本体建設工事では、県道松阪青山線沿いの右岸天端に、一般の見学者が利用できる展望所を建設中です。
- ✦ 展望所が完成すれば、本体建設工事の施工状況を見渡すことができます。
- ✦ 展望所が利用できるようになりましたら、改めて当建設所HP等でご案内させていただきます。

施工中の展望所



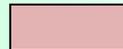
展望所からの眺め



~ 本体工事の進捗状況 ~



:完了



:施工中



:未実施

H30.4 ▼	転流工	H30.7 ▼	H30.9 ▼	基礎掘削	H31.9 ▼	堤体打設	H33.10 ▼	試験湛水	完成! (H35.3 予定)
仮排水路	仮締切工								
トンネル									

【工事課 西宏治郎】

イベントのお知らせ

第34回 青山夏まつり

開催日：平成30年7月15日（日）
開催場所：青山公民館周辺
お問合せ：青山夏まつり実行委員会
0595-52-2000

第11回 逆柳の甌穴まつり

開催日：平成30年7月29日（日）
開催場所：伊賀市高尾 逆柳の甌穴
お問合せ：高尾地区市民センター（千方伝承会）
0595-55-2700

編集後記

伊賀地方も、6月初旬に梅雨入りし、昨年と比べるとしっかりと雨が降っているようです。集中豪雨にはくれぐれもご注意ください。

また、遠くロシアでは、4年に一度のサッカーW杯が開催中で、連日観戦している方も多いのではないのでしょうか。

季節の変わり目に、サッカーで盛り上がり、つつい寝不足となり体調を崩しやすくなりがちです。適度に楽しみつつ、しっかりと自己管理を行い、風邪などひかないようにしましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧（所長）	
デスク	大西（総務課長）	中野（工務課長）
記者	西澤（経理課）	伊美（第一用地課）
	馬場（調査設計課）	柳瀬（環境課）
	西（工事課）	下園（機械課）

